

第6回

第1回日本放射線医療技術学会大会 (1st JCRTM)

第40回日本診療放射線技師学会大会 (40th JCRT)

第52回日本放射線技術学会秋季学会大会 (52nd Autumn Scientific Congress of the JSRT)



沖縄への道 Go To OKINAWA

運営委員 上江洲 千博

(一般社団法人沖縄県放射線技師会 理事)

沖縄県の周辺離島 (くめしま 久米島)

直近の記事は沖縄本島についての紹介でしたが、今回は周辺の離島について紹介させていただきます。沖縄県には有人無人合わせて54の離島があり、その中で有人島は38となっており、県の人口の約9%が離島で生活しています。また意外に思われるかもしれませんが離島の面積は1,024km²で、県全体 (2,282km²) の半分近くを占めています。そんな離島の中で、今回は、私の出身地でもある久米島について紹介します。

久米島は、沖縄本島から西に100kmの位置にあり、人口はおおよそ7,200人で、久米島本島と、米軍の射爆撃場となっている鳥島(とりしま)、さらに県内唯一の活火山島である硫黄鳥島(いおうとりしま)など5つの島から構成されています。沖縄本島からのアクセスとして飛行機とフェリーがあり、弾丸ツアーで日帰りも可能です。

主な産業は**サトウキビ**で、島内にはサトウキビ畑が至る所にあります。12月から3月までは製糖期と呼ばれ、サトウキビの収穫時期となっており、製糖工場もフル稼働の時期です。私も久米島に住んでいた頃は、製糖期にサトウキビの収穫作業(沖縄方言で「ウジトシー」)の手伝いをしていました。この「ウジトシー」、かなりの重労働で、憂鬱な気持ちで畑に向かっていたので今でも覚えています。



畳石

観光としては、白い砂だけでできている美しいビーチ「**はての浜**」や、溶岩が冷え固まってできた自然の造形美「**畳石**」などがあり、また観光スポットとは言えませんが、私の一押しとして久米島は沖縄本島よりも星がかなりきれいに見えるので、久米島を訪れた際はゆっくり星を眺めていただきたいです。

島のグルメとしては「**久米島そば**」があり、島で養殖されている車海老を使用した**車海老そば**がお気に入りです。おいしい居酒屋も何件もあるので、夜も楽しめること間違いなしです。この記事をきっかけに皆さんが離島に興味を持っていただけたら幸いです。

先ほど挙げたように、沖縄本島から久米島への移動手段は飛行機かフェリーですが、古宇利島(こうりじま)や瀬長島(せながじま)など、本島と橋でつながっている離島は9つあるので、JCRTMでお越しの際はぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。



はての浜



車海老そば